

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年11月20日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(C)の防食亜鉛棒の脱落について】 5号機タービン建屋補機冷却系熱交換器(C)の海水入口側配管の腐食対策として取付けられていた亜鉛棒が脱落しているのを確認。 現在、点検中の機器で停止しているため、系統機能上問題なし。 脱落した亜鉛棒の取付予定。</p>	GⅢ
2	<p>【第三セシウム吸着装置における除去性能未達について】 第三セシウム吸着装置の使用前検査「除去性能確認検査」の事前確認で試料を分析した結果、放射性物質濃度(Cs-137)が100Bq/ccオーダーを超えていることを確認。 吸着塔の逆洗等を実施し、判定基準を満足する値に下がったことから、今後、延期していた使用前検査「除去性能確認検査」を実施。 ※除去性能検査の判定基準: 系統出口水の放射性物質濃度(Cs-134、Cs-137)が100Bq/ccオーダー以下を満足すること。</p>	GⅢ